

第3 技術班の業務

1. 技術職員 6名で主に下記業務を行っている。

機械工学科・・・機械工作実習・工学実験・創作実習
電子制御科・・・工学実験実習、
全学科・専攻科・・・卒業研究の製作相談・装置製作
教員研究・・・製作相談・装置製作・試験材の製作
部活・・・ロボコン・自動車部の製作相談・部品製作
工場の施設管理・運営

2. 実習業務の内容は下記のとおりである。

1M・2M機械工作実習・・・安全教育・機械1・機械2・溶接・仕上げ・鋳造
3Mものづくり実習・・・歯車減速機の製作
1M創作実習・・・ガソリンエンジンの分解組み立て
レーザー加工機による木型切り出し
2S 工学実験実習・・・安全教育・機械1・機械2・溶接・仕上げ・鋳造

技術職員はそれぞれ機械1・機械2・溶接・仕上げ・鋳造に別れ、専門別に業務を行っている。各職員が自分の担当で工夫を懲らし、学生の実習・製作相談・製作指導に当たっている。

以下、担当者別に業務に対する取り組みを紹介する。

機械1担当：別 良政

旋盤の実習指導を行っている。

再雇用も最後の年なので1年間がんばります。

機械1担当：崎村 誠

技術を習得し、戦力になれる用に努力します。

機械2担当：久保 淳一

フライス盤の操作が安全・的確に行えるよう指導に取り組んでいる。

安全で利用しやすい工場を目指している。

溶接担当：樋口 章礼

新しい内容を取り入れ安全に興味を持てる実習を行っている。

また、学内の幅広い種類の依頼品の製作を多数行うことにより、技術の向上を図り座右の銘である職人と職員の両立を目指し努力している。もちろん今後も行っていく。

仕上げ担当：國崎 宏明

やすり掛け作業などを行い、平面度を出す作業を通じて手仕上げの重要性を紹介している。

鋳造担当：久保川 洋幸

鋳型製作、鋳込み作業などの鋳造作業の指導を行っている。その他にも工学実験では材料力学の実験準備や実験のサポートを行っている。学外の取り組みとして地元水族館での出前授業、本校バレ一部の学外コーチなどの活動をしている。学生達の興味が湧くような実習指導をするための工夫と、実習工場内の安全対策にも日々取り組んでいる。